

令和7年度石巻市在宅医療・介護連携推進事業 地域の医療・介護職の相互研修会（ご報告）

- ・開催日時：令和8年1月28日（水） 18時30分～20時15分
- ・会場：石巻市ささえあいセンター3階 ささえあいホール
- ・テーマ：「在宅看取りにおける多職種連携について」
- ・講師：医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック石巻 医師 落合 紀宏 先生
- ・参加者数：50名

（事業所別内訳（人数））

（職種別内訳（人数））

| | |
|----------------|----|
| 病院 | 2 |
| 診療所・クリニック | 2 |
| 訪問看護ステーション | 13 |
| 居宅介護支援事業所 | 10 |
| 地域包括支援センター | 9 |
| 小規模多機能型居宅介護 | 8 |
| 看護付小規模多機能型居宅介護 | 2 |
| 訪問介護 | 3 |
| 行政 | 1 |
| 合計 | 50 |

| | |
|-----------|----|
| 医師 | 4 |
| 看護師 | 17 |
| 主任ケアマネジャー | 12 |
| ケアマネジャー | 6 |
| 介護福祉士 | 4 |
| ホームヘルパー | 4 |
| 社会福祉士 | 1 |
| その他 | 2 |
| 合計 | 50 |

・当日の様子

【講師：落合 紀宏 先生】



落合先生には、昨年度も本研修会の講師をお引き受けいただき、「在宅医療・緩和ケアにおけるACP」をテーマに、在宅医療のACPに関する講話をいただきました。

昨年度の研修会に引き続き、今回の研修会では、「在宅看取り時における多職種連携」をテーマにグループワークが中心の研修会を実施しました。

今回の研修会は、グループワークを実施する観点から参集範囲を絞っての開催とし、医療職と介護職に分

かれるよう参加者を配置しました。

はじめにグループワークの導入として、在宅看取りにおける3種類のパターンを先生からご説明いただき、「がん終末期」「認知症終末期」「老衰終末期」のテーマからそれぞれ1事例を各グループへ提示し、事例検討を行っていただきました。

グループワークは二部構成となっており、はじめのグループワークでは、それぞれ割り当てられたケースで『自宅看取り』を叶える場合に自身の職種の視点から、“心配な点や不安な点”を挙げていただきました。

その後に、もう一度グループワークを行い、前に話し合った“心配な点や不安な点”をもとに“各職種でどのように関わり、各職種間でどのような協力を行えば、それらの問題を解決(より良い方向)にもっていき、自宅看取りが叶えられるか”といった内容を検討しました。

グループワーク後には、各グループから出た内容を参加者全体へ向けて発表していただきました。どのように本人や家族の意向を確認・共有できるかといった内容や、身寄りのない方への対応方法等について挙げられておりました。





【講話（まとめ）】

グループワークでの全体発表後、落合先生より下記のとおり、お話しいただきました。

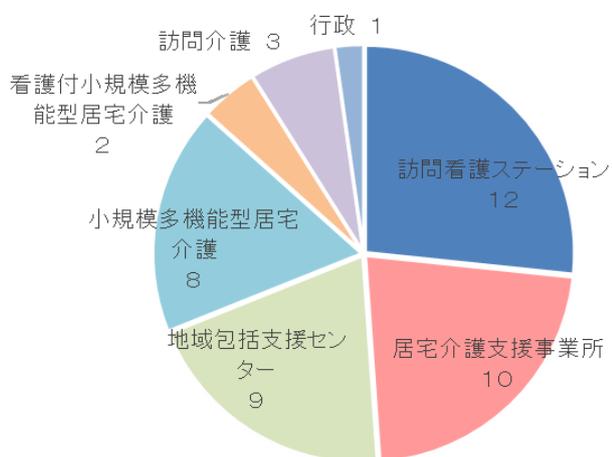
- ・在宅での看取りに関しては、「結果」ではなく、「過程」が重要である。提示した各ケースに対して個々の関りを考え、それを職種間で共有できたことから、各グループで検討した内容は全て正解である。
- ・支援者や本人・家族、関わる人々に不安や負担があるのは当然である。少しでもこれらを軽減できるように、関わる人たちで声を掛け合っていくことが大切である。

参加者アンケート 集計結果 (n = 48)

1. 所属機関 (人数)

| | |
|----------------|----|
| 病院 | 2 |
| 診療所 | 1 |
| 訪問看護ステーション | 12 |
| 居宅介護支援事業所 | 10 |
| 地域包括支援センター | 9 |
| 小規模多機能型居宅介護 | 8 |
| 看護付小規模多機能型居宅介護 | 2 |
| 訪問介護 | 3 |
| 行政 | 1 |
| 合計 | 48 |

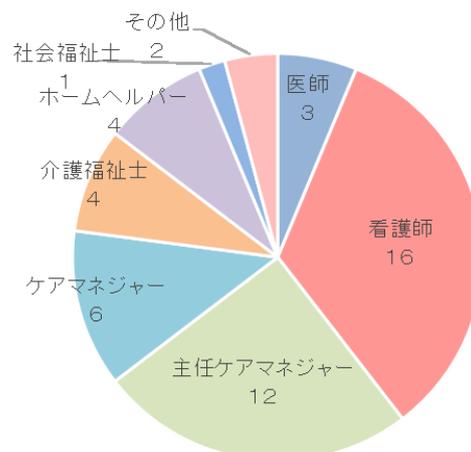
所属機関(人数)



2. 職種

| | |
|-----------|----|
| 医師 | 3 |
| 看護師 | 16 |
| 主任ケアマネジャー | 12 |
| ケアマネジャー | 6 |
| 介護福祉士 | 4 |
| ホームヘルパー | 4 |
| 社会福祉士 | 1 |
| その他 | 2 |
| 合計 | 48 |

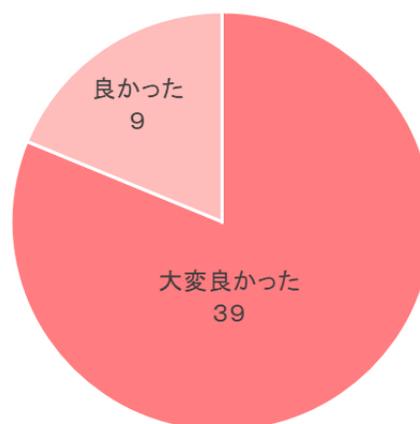
職種(人数)



3. 今回の研修(交流)会に参加した感想

| | |
|--------|----|
| 大変良かった | 39 |
| 良かった | 9 |

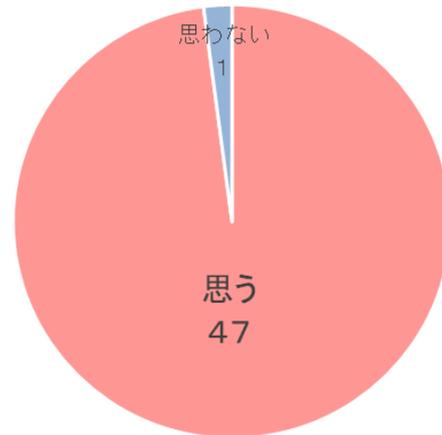
参加した感想



4. 今後も石巻地域における「交流」をメインとした研修会の必要性

| | |
|------|----|
| 思う | 47 |
| 思わない | 1 |

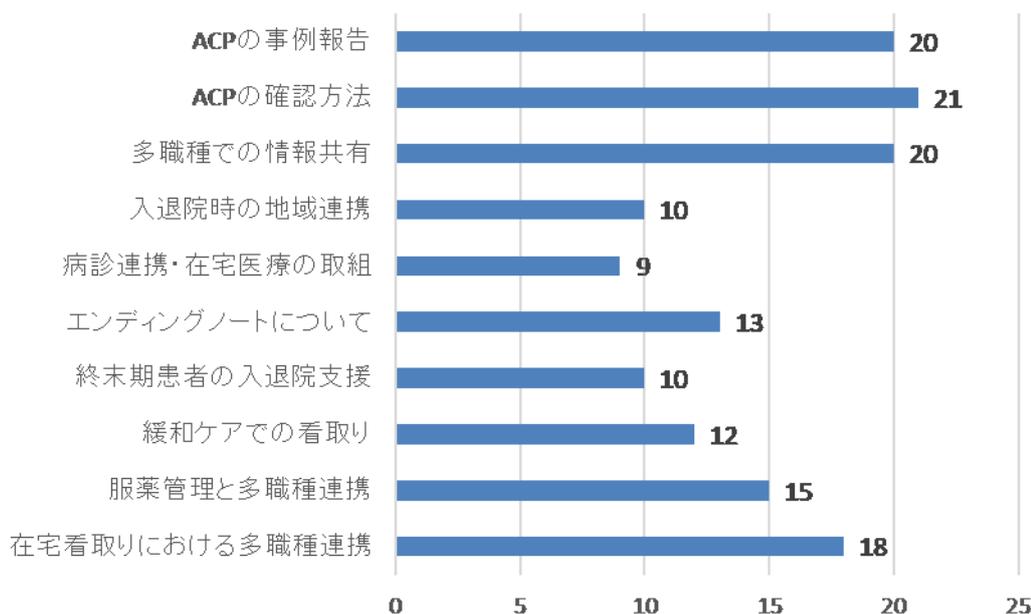
交流をメインとした研修会が必要か



5. 今後、参加してみたい研修内容

| | |
|----------------|----|
| 在宅看取りにおける多職種連携 | 18 |
| 服薬管理と多職種連携 | 15 |
| 緩和ケアでの看取り | 12 |
| 終末期患者の入退院支援 | 10 |
| エンディングノートについて | 13 |
| 病診連携・在宅医療の取組 | 9 |
| 入退院時の地域連携 | 10 |
| 多職種での情報共有 | 20 |
| ACP の確認方法 | 21 |
| ACP の事例報告 | 20 |

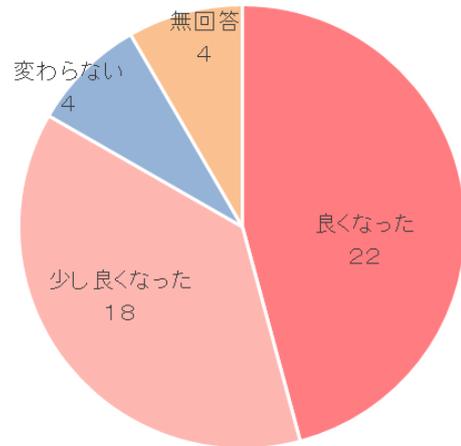
今後、参加してみたい研修会の内容



6. 以前より他職種連携がスムーズになったと感じますか。

| | |
|---------|----|
| 良くなった | 22 |
| 少し良くなった | 18 |
| 変わらない | 4 |
| 無回答 | 4 |

以前より他職種との連携が
スムーズになったか



7. 研修内容や運営に関するご感想をご記入ください。

- 本日は貴重なお話をありがとうございました。参考にさせていただき、事業所内でも共有しています。
- 落合先生、誠にありがとうございました。
- 研修会を頻繁に行っていただき、顔の見える関係づくりをしていきたいです。
- 事例に対し、他職種の方とお話ができ、とても勉強になった。
- 石巻市の方でも ICT ツールの活用を進めていただければと思っています。
- とても勉強になりました。
- 多職種の考え方や思いなど、グループワークで話し合い、よく理解できて良かったと思います。
- グループワークで様々な職種の方とお話しができて良かったです。看取る過程が大切だということがわかりました。ありがとうございました。
- 現実的な困難事例のグループワークで、今後の支援に活かせる内容でよかった。開催時間が遅いので少し参加に消極的であったが、参加してとても良かったと思う内容だったので、開催時間に拘らず、これからは参加したいと思います。講師の先生もとてもフランクで緩やかな気持ちで学ぶことができました。ありがとうございました。
- 多職種で関わる良い機会になった。
- 本日の研修会に参加し、とてもいい勉強になりました。また参加したいと思いました。
- とても充実した内容で参加できて良かったです。

- 現在、在宅での看取りを考えている利用者がいますが、本人と家族の意向が違い、迷っていましたが、看取りを希望時には、ご家族に安心して看取りができることを伝えたいです。
- 普段、あまりお会いしない事業所の方々と顔を合わせ、色々な職種でグループワークを行って意見交換ができ、有意義な時間になりました。また、このような機会があれば参加したいと思いました。ありがとうございました。
- 居宅のケアマネさんの意見を聞いて良かった。また、具体的に何を決めたらいいのか、相談したら良いのかわかったのもよかった。
- グループワークをすることによって、様々な職種の方の意見や考え方を知れて、とても参考になりました。
- もう少し早い時間に始めて欲しい。
- とても有意義であった
- とても分かりやすく、スムーズな進行で素晴らしかったです。
- ここ数年、研修会などが多くなり、多職種連携が強まったと強く感じます。研修会で、顔が見える関係作りもできていると思います。
- 研修会の出席は、相談職が多く、現場の方が少ないので、支援の実際がよく分からない部分もありました。
- 参加者がもう少し多いと良いと思いました。
- みんなで話せて大変よかったです。
- 大変為になりました。他の事業者との関わり貴重でした。
- 研修の機会を増やしてほしいです
- 明日から少しずつ実践していきたいです
- なかなか話す機会が少ないので、今回参加して良かったです。
- 直接他職種の方と話すことができ、リアルな声をきくことができよかったです。
- 在宅での看取りについて他職種の方がどのように考えているのか知ることができてとても良かった。今後看取りに関わることも多いと思うので、今回のグループワークを参考にできたら良いと思いました。
- あまり経験がない事例の検討もあり、他職種の方の貴重な意見を聞くことができとても勉強になりました。次回も機会があればぜひ参加したいです。
- 今後、ご自宅での看取りについて、勉強になりました。連携がいかに重要か改めて感じました
- 在宅看取りについて大変勉強になりました。今後、在宅サービスを提供する上で利用者が安心して最期まで在宅で過ごせるよう、本日学んだことを活かしていきたいと思います。また、研修の際は参加させていただきたいと思います。
- 地域で働く他職種が直接顔を合わせて話ができる機会を作っていただきありがとうございました。この顔が見える関係性が利用者に還元されることと思います。